

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ディスコ大阪支店 新築工事	階数	地上6F
建設地	大阪府箕面市箕面船場東	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,586 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年11月 予定	評価の実施日	2023年10月27日
敷地面積	2,206 m ²	作成者	株式会社大林組大阪本店一級建築
建築面積	1,576 m ²	確認日	
延床面積	8,435 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	建物外皮の熱負荷を抑制した設計をするとともに、敷地周辺の景観にも配慮した外観計画としている。	
その他	特になし。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
F☆☆☆☆の建材を採用し、自然換気有効な窓を多く計画するなど、空気質環境に配慮している。	天井高に余裕を持たせ、リフレッシュスペースも十分な広さを確保するなど、建物利用者の心理性・快適性に配慮している。	歩行者に配慮し、十分な後退をとるとともに植栽を高・中・低木をバランスよく配置しているほか、ごみ置場は室内に配置し、駐輪場も北側のサブ道路側に計画することで、周辺景観を阻害しないよう工夫している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BPIm、BEImを低く抑えた設計としている。	再利用可能な部材を使用するほか、断熱材にはGWPの低いものを採用している。	駐輪場・駐車場を十分に確保し、駐車場の導入路の幅を広く確保することで、周辺道路に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府の重点評価(結果)

【建物概要】	建物名称	ディスコ大阪支店 新築工事					
	建設地	大阪府箕面市箕面船場東					
	用途/区分	事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					4	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.9	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.1	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		